

問 結婚（婚活）支援の推進を

アイ 答 iーサポ入会登録料の助成を検討



なか や よし のぶ 議員
(令 和 新 風 会)

問 昨年の県内出生数が記録の残る昭和26年以降最小となる見込みである。要因として平成30年に約4500件の婚姻件数がコロナ禍の影響により令和2年から4000件を下回ったことが上げられた。本町の出生数と婚姻件数は。

佐藤町長 出生数は平成20年119人、30年84人、令和2年74人、4年62人。婚姻件数は平成20年60件、30年51件、令和2年35件、4年37件となっている。

問 少子化対策は子育て支援だけでなく、それ以前の婚姻を増やす施策も必要であり、結婚の意思を持っているが出会いの機会に恵まれない未婚者への婚活

支援としてiーサポの入会登録料を多くの自治体が助成している。本町でも同様に実施するべきでは。

町長 出生数、婚姻数の減少は深刻な問題と捉えており、他市町村の実施状況を踏まえ検討する。



出会いを応援する i - サポ

用語解説
「いきいき岩手結婚サポートセンター」
(通称：iーサポ)

結婚を希望する方々を応援するため、岩手県県内全市町村、主要団体と連携し、公益財団法人いきいき岩手支援団体が運営しています。公的な取組のため、安心で安全な婚活ができます。入会登録料1万円で、登録から2年間有効です。

問 高齢者等公衆浴場入浴料の助成を

答 より効果的な施策を研究していく

問 高齢者の健康増進や交流の場、また町内

2力所だけとなつてしまった公衆浴場の維持

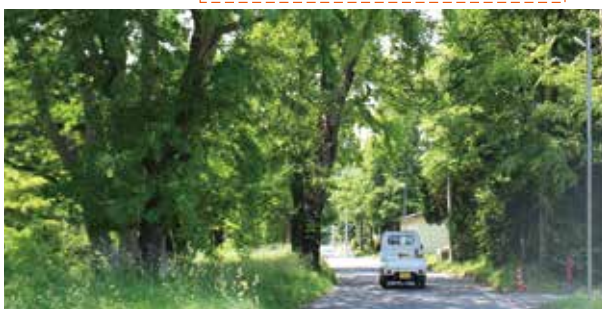
と利用促進を目的に入浴料の助成を検討してはどうか。

町長 県内温泉地では介護予防意識の向上を目的に助成している自治体はあるが、本町では施設が少な

く、地区に偏りがあり公平性という点で課題がある。現時点で入浴料助成の考えはないが、より効果的な施策について研究する。

問 町道沿いの立ち木等の適正管理を

答 剪定伐採等の適切な維持管理に努める



老木化が進行する関谷地区のさいかち並木

問 関谷地区のさいかち並木は老木化が進行し、幹の空洞化や立ち枯れもある。枝折れや倒木により事故等の危険もあることから、町の対応について伺う。

町長 町道沿いの樹木の点検は道路パトロール時に状況を確認し、問題があれば都度対応している。指摘箇所については所有者の県等と相談し、適切な維持管理に努めていく。

その他の質問

◆魅力ある鯨力ヌーレースの復活開催を